

台風時は以下の避難所から開設します

- ・新川公民館 ・中部公民館 ・大浜公民館
- ・棚尾公民館 ・鷺塚公民館 ・南部市民プラザ
- ・東部市民プラザ ・農業者コミュニティセンター

避難所開設の情報

避難所開設の状況は、市ホームページ、へきなん防災メール、ケーブルテレビKATCH、Pitch FM (83.8MHz) などで発信します。

へきなん防災メールを登録してください

市からの防災情報が受け取れます。登録は無料ですが、メール受信にかかる通信料は利用者負担です。迷惑メール機能を使用している場合、登録する前に「hekinan-city@raidan.ktaiwork.jp」からのメールが受信できるように設定してください。

登録方法

- ①以下の2次元コードを読み取るか、以下のアドレス宛に空メール(件名、本文不要)を送信します。
- ②返信されるメールから本登録してください。

避難時に必要な物は各自で持参してください

避難所で市が用意している備蓄品は、南海トラフ地震などの大規模災害に備えたものです。そのため、一晩で大きな被害がなく通り過ぎる台風などにおいては、市の備蓄品は原則配布しません。飲料水、食料、座布団、毛布、携帯電話、常備薬、オムツなどを持参してください。

感染症対策に協力してください

- ・分散避難に協力してください。安全な親戚・知人宅などへの避難が可能な場合は、そちらへの避難を優先してください。
- ・感染症対策品（マスク、体温計、アルコール消毒液、ビニール袋など）は必ず持参してください。
- ・避難者同士の間隔は1m以上あけてください。
- ・避難所内ではマスクの着用をお願いします。
- ・こまめに手洗い、アルコール消毒をしてください。
- ・定期的に検温を行い、体調管理に努めてください。体調に不安を感じるときは避難所の係員に相談してください。



日本語

bousai.hekinan-city@
raidan.ktaiwork.jp



やさしい日本語

yj-bousai.hekinan-city@
raidan.ktaiwork.jp

C・S
コラム
敬天愛人
碧南市長
榎田政信

碧南市の小学校教員時代に

山本悦子さんが日本児童文学界の最高賞といえる野間児童文学賞を受賞

野間児童文学賞とは、講談社（東京都文京区に本社を置く大手総合出版社）の初代社長である野間清治氏の遺志により設立された財団法人野間文化財団が昭和38年（1963）から設けた児童向けの文学・ノンフィクションを対象とする文学賞であり、平成5年（1993）、31回目以降は毎年1作品のみを選出しています。受賞者には正賞としてブロンズ像、副賞として200万円が授与され、対象作品は前年8月1日から当年7月31日までの過去1年間に刊行されたもので11月に発表、12月に贈呈式が行われます。

この賞は、児童向けの童話や絵本を書いている児童文学作家に与えられる日本における最高賞といえる賞です。実は、この賞を碧南市の教員であった山本悦子さんが受賞しているのです。

山本悦子さんは、半田市の生まれで現在も同市に住んでおられますが、平成5年（1993）から令和元年（2019）まで、碧南市の新川、棚尾、大浜、鷺塚の各小学校で教鞭を執りながら作家活動をされています。

ました。その経歴は次のとおりです。
平成8年（1996）発行の「ぼくとカジババのめだまや戦争（ポプラ社）」で児童文学作家としてデビュー（棚尾小学校勤務時代）。
同年発行の「Wa・o・n」夏の日のトラペット（ひくまの出版）で第7回新・北陸児童文学賞受賞（棚尾小学校勤務時代）。
平成22年（2010）発行の「がっこうかっぱのイケノオイ（童心社）」が第57回青少年読書感想文全国コンクール・小学校低学年の部の課題図書に選定されました。
平成26年（2014）発行の「先生、しゅくだいわすれました（童心社）」がミюнヘン国際児童図書館が選ぶブックリストに選定されました。そして、平成28年（2016）に発行した「神隠しの教室（童心社）」で第55回野間児童文学賞を受賞となりました（鷺塚小学校勤務時代）。

その後も、「夜間中学へようこそ（岩崎書店）」、平成30年（2018）に「おかわりへの道（PHP研究所）」、「二年二組のたからばこ（童心社）」、令和元年（2019）「犬がすきなぼくとおじさんとシロ（岩崎書店）」、「今、空に翼広げて（講談社）」、「がっこうかっぱのおひっこし（童心社）」などを出版されています。碧南市ゆかりの山本悦子さんの今後ますますのご活躍をご祈念申し上げます。